

1年次

2年次

3年次

4年次

5年次

6年次

医学部の  
カリキュラム

基礎医科学

基礎科目

教養科目

医学総論

臨床基礎医科学

社会医学

臨床医学

社会医学

総合講義

臨床実習

集中講義

卒業試験

国家試験

共用試験

学部合同で学ぶ  
チーム医療  
学習

- チーム医療の基盤PBLチュートリアル
- 早期臨床体験実習I

- 在宅医療を支えるNBMと倫理PBLチュートリアル
- 早期臨床体験実習II

- 臨床シナリオPBLチュートリアル
- 在宅高齢者コミュニケーション演習
- 在宅医療支援演習

- 病棟実習シミュレーションPBLチュートリアル
- 在宅シミュレーション演習

- 学部連携病棟実習
- 学部連携地域医療実習

人との関わり方  
豊かな人間性を養う

専門領域への前段階として基礎科目を中心に「医学とは何か」に始まり、基礎をしっかりと学びながら、医療人としての豊かな人間性を養います。4学部の学生が連携して学ぶ「チーム医療」学習も展開されます。

からだのことを  
専門的に知る

人体の構造(組織学)と機能(解剖学、生理学)など、さまざまな講義・実習を通して、病気の診断と治療を行う上で重要な基礎医学の領域を学びます。一方で医師としてのコミュニケーションについても学びます。

実習で知識・  
基本技術を高める

基礎医学実習やチュートリアル演習を通して病気や障害を理解し、基礎から臨床へと学びを進めます。PBLチュートリアルでは、学生同士で討議しながら、課題解決を図る授業が展開されます。

実習および共用試験対策、  
臨床実習開始

画像診断や救急措置、基本的な診察・診断方法を身に付け、臨床実習に臨みます。臨床実習にあたっては、共用試験(OSCE、CBT)を行い、習熟度を審査します。

濃密な臨床実習で  
実践応用力を養う

附属病院の各診療科をまわり、患者さんと直に接しながら、4～5年次にかけて臨床医学のすべての分野を実習します。また、消防署での救急自動車同乗実習も行われます。

選択実習および  
国家試験に向けた仕上げ

前半は自分が希望する附属病院の診療科で臨床実習のほか、学外および海外医療施設の臨床実習に参加することができます。後半は集中講義で6年間の学びを総括し、卒業試験を経て医師国家試験に臨みます。